



# 産業建設常任委員会

## 【所管事務調査】

### 草津川跡地公園を軸としたまちづくりについて

産業建設常任委員会では、令和元年12月から約2年間、「草津川跡地公園を軸としたまちづくりについて」を所管事務調査項目としました。

市域を東西につなぐ広大な草津川跡地公園を基軸としたまちの活性化の方策について調査・研究を進めています。

#### 【所管事務調査スケジュール】

	R1	R2										
	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月		
調査項目決定	★			新型コロナウイルス感染症の感染防止のため調査研究を中断								
行政視察		★										
委員間討議			★						★	★		
中間まとめ											★	
中間報告										★		

#### 【行政視察】

南池袋公園（東京都豊島区 R2.1.29 視察）

- ・一年中みどりがあふれる芝生広場、多目的広場、サクラテラス、キッズテラス、カフェなど、おしゃれでにぎわいのある空間に。
- ・㈱ランドスケープ・プラスの平賀達也氏が公園デザインを監修。専門家の洗練されたレベルの高いものを取り入れ人を惹きつける公園に。
- ・住所不定者の対策として、午後10時から午前8時まで閉園管理。



泊まれる公園 INN THE PARK（静岡県沼津市 R2.1.30 視察）

INN THE PARKの3つの事業と狙い

- ①宿泊事業……市外・県外の方を狙って外から人を呼び込む。
- ②飲食事業……宿泊者、公園利用者の両者が狙い。サロンカフェや飲食物販売。
- ③公園でのイベント事業……市民を狙い、地元向けに発信。公園に来たらふらっと参加できる日常的なものづくり体験、料理教室、書道教室、公園に来ている親子と一緒にできるワークショップなど。

#### 【委員間討議】

跡地公園全体の回遊性について（抜粋）

- ・利用者アンケートによると、区間2（ai彩ひろば）は70代以上の方が最も多く利用している。また、区間5（de愛ひろば）については、交通手段として最も多いのが「徒歩」である。このことからみても、公園全体の回遊性を持たせるためには園内を往来する自動運転バスの運行などが欠かせないのではないか。
- ・跡地公園全体が完成するまでにまだまだ時間を要する。区間2と5を往来する手段として、比較的容易に試行できるレンタサイクルなどを取り入れ、回遊性を高める効果を検証してみてもどうか。
- ・移動手段だけではなく、跡地公園全体を楽しみたくなる仕掛けが必要。たとえば、他区間の魅力が伝わる看板およびライブ中継モニターを設置してはどうか。また、各区間の目玉となるイベント開催や魅力店舗の誘致など、人を惹きつけるものが必要と考える。

区間2(ai彩ひろば)

↓グランドゴルフを楽しむ様子



区間5(de愛ひろば)

↓桜を楽しみにぎわう様子



#### 【今後の調査の方向性】

1. 公園全体の回遊性および市内全域の回遊性にかかる公共交通網整備について
2. 指定管理者の自主性、市・事業者・市民のより良い関係性づくりについて
3. 草津市役所各所属の草津川跡地公園との関わり方について（プロジェクトチーム化の必要性）